

2021年3月期 第1四半期決算説明会（2020年8月12日開催） 質疑応答 要旨

Q1.Staffing SBU が第1四半期に予想比、上振れた理由について

A1.コロナの影響でスタッフの休業により稼働が低下する前提で予想を策定しましたが、在宅勤務という形で就業が可能であり、企業様の人材活用方針の維持や雇用を安定させようというご配慮が含まれ、スタッフの稼働が大きく下がらず、6月の契約更新期の終了者数も想定よりも少なかったことが、主な要因です。また、受託請負のBPOが、前年同期比、二桁以上の成長で推移しており、足元の引き合いも強かったことも貢献しました。

Q2.Staffing SBU の第2四半期予想について

A2.第1四半期に比べ、稼働日が夏休みの関係で減少すること、また、同一労働同一賃金の導入によりスタッフへの交通費を含めた支払いが上がっていることから、第2四半期以降、社会保険料が増加すること等で、利益幅が減少する見込みです。

Q3.Career SBU の状況について

A3.4月および5月の受注は前年同期比50%の水準、6月および7月は70%程度まで回復し、来年3月には80%まで戻ると想定しています。

Q4.株主還元方針について

A4.経営環境が大きく変化している中で、各SBUの戦略に基づき、効果があり、企業価値が上がる投資や株主還元等のキャッシュアロケーションを精緻に検討しており、株主還元方針は、中間配当の時期をめぐりに開示を行う予定です。

Q5.中期経営計画における各SBUの成長イメージについて

A5.各SBUの目標は次の通りです。

- ・Staffing SBU は、9月および12月の契約更新が期待通りに推移すれば、今後は安定した成長を見込めると認識しています。
- ・Career SBU は、今期はコロナの影響を大きく受けますが、今期末には前年同期比80%レベルまで受注が戻ると予想しており、来期は黒字化を見込んでいます。これまで人に依存することが多かったCareer事業を、今後はDXを活用した自動化により、更なる生産性の改善を図る予定です。
- ・Professional SBU は、従来のITOセグメントとエンジニアリングセグメントのシナジーの最大化を目的として、IoTの強化やセキュリティの強化などで各々が保有するノウハウをつなぎ合わせて価値を生み出し、世の中に提供していく予定です。当社の考えに合致する会社があれば買収も検討していきます。
- ・Solution SBU は、引き続き新規事業に投資をし、新たな価値を創造することでグループ全体の次の成長を生み出していきます。
- ・APAC SBU は、これまで売上基盤の構築に最大限の力を注いできましたが、今後1~3年は、収益力の拡大に力を注ぐ予定です。

以上